

PDX を用いた ARF-GEF 阻害薬による抗腫瘍評価

1. 研究の対象

「創薬研究に有用な患者検体移植モデルの構築に関する研究（課題番号 2015-123、研究代表者 濱田哲暢）」にご同意いただき、PDX 株が樹立できた患者さんが対象となります。

2. 研究目的・方法

我々はこれまでに、受容体型チロシンキナーゼ（RTK）変異がん細胞および小胞体（ER）ストレス感受性がん細胞に特異的に作用する ARF-GEF 相互作用阻害剤の開発を進めています。この薬剤は天然物に由来する人工化合物で、複雑な構造を有しているが、東京理科大学 椎名博士が見出した新規合成化学的手法により全合成が可能となりました。これまでに、この薬剤がマウスモデルにおいても抗がん作用を示すことが確認されており、現在どのようながんやどのような状態で抗がん作用を発揮するかの検証を進めています。

この研究では、ARF-GEF 阻害薬の抗がん作用を、患者腫瘍移植モデル（PDX モデル）を用いて評価することを目的とします。

なお、この研究は国立がん研究センター研究所 分子薬理研究分野との共同研究のもと行われます。

研究実施期間：研究許可日～2025 年 03 月 31 日

研究対象症例期間：1999 年 1 月 1 日～2021 年 9 月 30 日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

試料：「創薬研究に有用な患者検体移植モデルの構築に関する研究（課題番号 2015-123、研究代表者 濱田哲暢）」において樹立された PDX 株

情報：「創薬研究に有用な患者検体移植モデルの構築に関する研究（課題番号 2015-123、研究代表者 濱田哲暢）」において収集された、腫瘍の情報（ステージ、がん種など）、身体所見、血液検査、画像検査の結果、治療の効果など

4. 試料・情報の公表

この研究から得られた結果は、医学関係の学会や雑誌等で本研究に関わるしかるべき研究者が公表致します。また遺伝子解析のデータは、科学技術振興機構バイオサイエンスデータベースセンター（National Bioscience Database Center: NBDC）が運営する NBDC ヒトデータベースに登録し、国内外の研究機関や製薬企業等の民間企業において実施される研究に活用されます。個人の同定につながらない、情報は制限のないデータとして不特定

多数の者に利用され、個人毎のデータ等は制限のあるデータとし、審査を経て承認された研究者のみが利用します。

5. 外部への試料・情報の提供

共同研究機関への試料と情報の提供は匿名化した状態で行われ、特定の関係者以外が情報にアクセスできない状態で行います。対応表は、当センターの研究責任者が保管・管理します。

6. 研究組織

国立がん研究センター研究所	分子薬理研究分野	濱田 哲暢（研究代表者）
		柳下 薫寛（研究事務局）
東京理科大学	理学部第一部応用化学科	椎名 勇（研究責任者）
	理学部第一部化学科	下仲 基之
	薬学部薬学科	真野 泰成

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先（研究責任者）：

東京理科大学 理学部第一部応用化学科 椎名 勇

162-8601 東京都新宿区神楽坂 1-3

03-3260-4271